

広報あか池

3

■発行/赤池町役場〒822-11福岡県田川郡赤池町大字赤池1146番地の1 ☎0947(28)2004 ■編集/総務課文書広報係

★町の人口★ 人口10,207(+8) 男4,846(+6) 女5,361(+2) 世帯合計3,419(+3) 62年1月末現在()内は前月との比較です。



最強地下たび軍団
(3支所)

第二回町民綱引き大会

赤池町は みんなであつぱる



昭和六十二年第一回一月臨時町議会が一月二十六日に行われまし
た。議案は二件でいずれも原案ど
おり可決されました。内容は次
のとおりです。

◎専決処分について

昭和六十一年度同和地区改善施
設整備事業「赤池同和対策集会所
新築工事」(三月二十七日完成予定)
の請負契約を締結する必要がある
でしたが、町議会を招集するの
が困難であったため、専決処分を
したもので、これを報告し承認さ
れたものです。

◎工事請負契約の締結について

昭和六十一年度臨時石炭鉱害復
旧事業「赤池保育園復旧工事」(三
月三十一日完成予定)、ならびに昭
和六十一年度過疎対策事業「赤池
第2ニュータウン道路工事長浦三
号線第一工区」(三月三十一日完成
予定)の二件の工事予定価格の金
額がいずれも三千万円を下らない
ため議会の議決を得ました。

力合わせて、踏んばって！

二月十四日、町民会館と勤労者
体育センターで「第一回町民綱引
き大会」が行われました。
参加したのは、三十三チーム、
一チーム八名の選手です。33
×8で二百六十四名、それに各チ
ームの応援団が加わり、三百人は
はるかに超える人たちが集まりま
した。

試合は、小学生、中学生、婦
人、壮年、それに青年と壮年を中
心にした最強チームの五部門の各
地区公民館対抗で熱戦ばかり。
綱を引く、みんなで力を合わせ
ればどうにかなる。技術なんてい
らない。やってみる方も、見る方
も理屈ぬきで面白い。今回参加さ
れなかった方、又やりますので今
度は是非参加して下さい。本当に
面白いですよ。



▲大人の方が一生懸命？

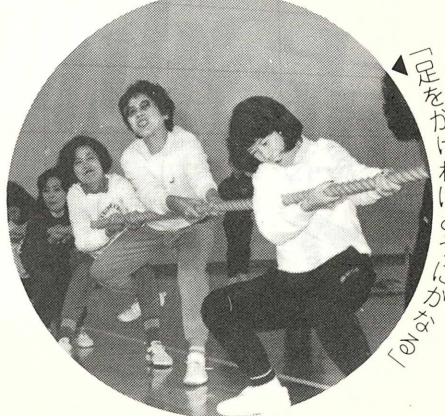
なお成績は次のとおりです。
▽小学生①十二支所②猿畑▽中高
校生①3支所▽婦人①七支所②猿
畑▽壮年①3支所②猿畑▽最強軍
団①3支所②七支所



◀やれ引け、もつと引け!!



「力は入れているんですが…」



「足をかければどうにかかな」

ニタンポポニ

3、4月ごろの野原で目につく黄色い花は「タンポポ」。春の光を吸い取って咲いた感じのキク科の多年草です。

地面にはりついたように生えるへら形の葉には不規則なギザギザがあり、その中心部から伸びた茎の先端に、黄色またはクリーム色の花が開きます。「鼓草(つづみぐさ)」という名は、その花の形が鼓面に似ているから付いたものです。



地方によってタンポコ、タンタン、テポポ、デポポの呼び名があるところからみてもこれは鼓の音色を模した擬音語で、子供たちが言い出したものと思われる。

漢字で書くと「蒲公英」。開く前の花を乾燥させて作る漢方の解熱・発汗剤の薬名です。

英語の「ダンディライオン」は、ライオンの歯、を意味するフランス語からきた言葉。ギザギザの葉がライオンの歯並びを連想させたことによる命名でしょう。

猛獣のイメージは西洋的ですが鼓の響きを伝える「タンポポ」はいかにも日本的です。

第二次赤池町総合計画

この計画の主役はあなたです!!

今月からは、21世紀に向けてのまちづくりの6つの柱をそれぞれひとつずつ細かく説明し、基本構想でどうなっているのか、また第1期の基本計画では基本構想に向けてどう方針をたて、どう主要な施策をしていくのかを図式で関連させながら説明していきます。

第1期基本計画

基本構想

【1, 土地利用】
豊かな自然と歴史、文化および都市の魅力との調和をはかり、本町の個性を生かした活力ある住みよいまちづくりを推進する。このため、本町を農業、工業、商業、観光の振興をはかる地区、良好な住宅地として計画的に整備を促進する地区、公共業務、文化、体育、福祉等の施設を集積をはかり、コミュニティの中心として整備を促進する地区、良好な自然環境を保全する地区に区分し、これらの地区の特性、機能を十分に生かすよう法的規制、誘導策を活用し合理的土地利用を促進する。

【2, 交通体系】
円滑で安定した生産活動、都市活動の確保と安全でうるおいのある生活環境を守るため、モータリゼーションの進展に対応した総合的な交通体系の確立をはかる。
即ち、広域的な交通を大量に処理する主要地方道田川一直方バイパスを根幹に、周辺市町村と連絡する幹線道路である主要地方道田川一直方線、主要地方道北九州一小竹線、県道田川環状線の骨格とする道路網の段階構成の明確化をはかる。
また、これに応じ老人、子供等の交通弱者へのサービス向上を考慮した公共輸送機関の再編、強化を促進する。特に、北九州市、直方市から本町を通り田川市へ抜ける高速公共輸送機関の確保に努め、時間距離の短縮をはかる。

【3, 水資源】
将来の人口増、核家族化による世帯増、生活様式の変化および工場の進出等による水需要の増大に対処するため、水は人々が生きていく上で欠かすことのできない限りある重要な資源であることを認識し、水の有効利用についての意識向上をはかる。また、新たな水資源の開発および給水施設、農業用水路の改良整備を促進し、水の安定供給に努める。

基本方針

◆計画期間/ S61年度～S65年度 ○テーマ/「出会いとふれあいと安らぎの場の創造」○人口フレーム/10,200人◆

豊かな自然環境、文化、歴史的資源との調和を図るよう住宅、産業の配置を行ない、また、新たな緑、文化を創造することによって、ふるさととして魅力あふれる住みよいまちづくりを進める。

主要地方道田川一直方線バイパスを根幹として道路の段階構成の明確化をはかり、安全性、円滑性、快適性に充分配慮した整備を促進する。

住民の足を確保し、利便性の高い有機的かつ合理的な交通体系を確立するよう公共輸送機関の充実を促進する。

水道事業の健全化に努めるとともに、水需要の増大に対処するため水資源の開発を進める。
農業用水については、生活排水との分離をはかり、農業用水路等の整備を進める。

主要施策

○計画的、合理的な土地利用を促進するため、国土利用計画法に基づく町土地利用計画を策定する
○また、この町土地利用計画に基づき都市的土地利用を適切に規制、誘導するための都市計画区域および地域地区指定の検討を行なう

○県道田川環状線の建設を促進する
○中心地区を貫く主要地方道北九州一小竹線を本町のシンボル道路と位置づけ、優れた景観を持つ緑豊かな空間への整備を促進する
○町道貴船迫一高尾線、入来一高鶴線の線形の整形化、拡幅整備を促進する
○その他の道路については、道路体系の中における位置づけ、緊急性を充分検討し、計画的かつ効率的に整備を進める。

○関係市町と一致協力し、伊田線の存続および列車の増便について強く要望していくとともに、存続のための条件整備を進める
○バス便の増便、定時性の確保および路線の拡大を求めて関係機関に働きかけていく
○赤池駅におけるバス便と鉄道便の有機的連携を強化する
○福祉バス応用による町内主要公共施設利用バス運行を検討する

○貴船水源および給水施設の開発を促進する
○県、広域市町村圏との緊密な協力のもとに、田川地区に多目的ダム建設の促進をはかる
○住民に対し積極的に節水意識の高揚をはかる
○既存水源の有効利用および有収率の向上に努める
○農業用水路、溜池の改良整備を促進する
○計画的な土地利用の促進等、総合的な水質保全策を推進する

21世紀の赤池町の骨格形成に向けて